

2016年9月吉日

学 校 長 殿
英 語 科 担 当 者 殿
E L E C 同 友 会 英 語 教 育 学 会 員 各 位

E L E C 同 友 会 英 語 教 育 学 会 会 長 本 多 敏 幸
第 2 2 回 研 究 大 会 実 行 委 員 長 原 田 博 子

E L E C 同 友 会 英 語 教 育 学 会 第 2 2 回 研 究 大 会

爽秋の候、皆様方にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、E L E C 同友会英語教育学会第 22 回研究大会を、下記の要領で開催する運びとなりました。年々、多くの現職教員の方々に加え英語教育を志す学生の方々も熱心にご参加いただき、熱気あふれる大会となっております。これもひとえに皆様のご協力とご支援の賜と感謝致しております。

8月1日には次期学習指導要領に向けた審議のまとめが発表されました。英語教育は、社会の中で使える英語力の育成に向けて、小・中・高等学校までを見通したかなり具体的な目標が掲げられています。このような国の大きな動きを踏まえ、これからの英語教育について語り合う一日にできればと願っております。

すべての英語教育に関わる先生方、教員志望の学生の皆さん、ぜひ奮ってご参加下さい。

記

1. 期 日： 2016年10月30日（日） 9:20～17:20
2. 会 場： 拓殖大学文京キャンパス（東京メトロ丸の内線「茗荷谷」駅下車 徒歩3分）
C館5階を中心として（受付はB館1F学生ホール）
3. 主 催： E L E C 同 友 会 英 語 教 育 学 会
4. 参加方法：・事前の参加申し込みは不要です。参加ご希望の方は、当日会場で受付をお願いいたします。受付は一日を通して行っています。
・当日に入会（年会費 5,000 円）の手続きをなさった方は、会員として無料で参加できます。
5. 参加費（資料代）：会員 無料 学生 1,000 円 一般 3,000 円
6. 大会プログラム（予定。詳細は変更になる可能性があります）：

9:20	受付開始	12:30～13:20	研究部会発表Ⅰ	実践・語彙
9:50～10:00	開会行事	13:30～14:20	研究部会発表Ⅱ	評価・リーディング
10:00～11:30	講演	14:30～15:20	研究部会発表Ⅲ	ライティング・音声
11:30～11:45	会員総会	15:35～17:10	ビデオによる公開授業（一般会場）	
11:30～12:30	昼食・協賛企業展示	15:35～17:20	同	（学生会場）
		17:10～17:20	閉会行事	
		17:35～19:05	懇親会（学生食堂）	

7. 内 容：

<午前の部>

◆講演 (10:00~11:30)

タイトル：「本物の英語力—英語格差を飛び越える」

講 師：鳥飼玖美子（立教大学名誉教授）

講演司会：吉住 香織（國學院大學）

2012年よりグローバル人材育成政策が大学でも高校でも推進されるようになって以来、英語格差は海外だけでなく、日本国内でも広がってきたような印象です。本講演では、そのような英語格差（English Divide）の実態を検証し、その格差に埋没することなく、むしろ飛び越えることを目指して、最低限の英語力を身につけるための学習方略と英語教育のあり方について、国際共通語としての英語、異文化コミュニケーションのための英語、内容と言語統合アプローチ、複言語主義など、様々な視点から考えてみたいと思います。

<午後の部>

◆研究部会発表

実践研究部会 (12:30~13:20)

「内容理解を英語で行うモデル作り」

「授業を英語で行うことにした！」「でもどうやって？」「日本語で行う授業をそのまま英語にすればいいの？」「教科書本文の内容理解は？」「文法の解説は？」実践研究部会では、「英語で行う授業」について検討しています。昨年度は中学校の教科書本文の内容理解を検討しましたが、本年度は、高校2年生の教科書を使った模擬授業をお見せし、それに対して部会で出てきた意見を報告いたします。

司会・発表者：石井亨（千代田区立九段中等教育学校） 発表者：岩瀬俊介（千代田区立九段中等教育学校） 三浦幸子（都留文科大学） 八木孝之（東京都立片倉高等学校）

語彙指導研究部会 (12:30~13:20)

「定期試験、小テスト、パフォーマンステストで使いたい語彙問題」

今年は、部員が使っている語彙問題のうちひとつを取り上げ、そのテストを改良していくことで、生徒達の単語学習もよりよいものになっていくかどうかのプロセスを研究している。大会では、改善されたと思われる、ちょっとユニークな語彙問題をいくつか紹介し、実際に先生方にもお試しいただきながら、よい語彙問題とはどういうものかについて考えていく予定である。

発表者：岡田順子（元埼玉県立朝霞高等学校） 宮島盛明（新潟県立分水高等学校）

評価研究部会 (13:30~14:20)

「定期考査の『読むこと』に関する出題について考える ～中高教員へのアンケート調査結果をもとに～」

「定期考査の『読むこと』に関する出題…その目的は？」「既習の教科書本文そのまま出題していいの？」「工夫すべき点は？」「リーディング問題の出題に自信がもてない…」評価研究部会では、定期考査における「読むこと」の出題についての実態を把握するためにアンケート調査を実施しました。大会ではその分析結果を報告しながら、いわゆる「総合問題」の是非も含めてみなさんと一緒に考えます。

発表者：笹生綾子（千代田区立九段中等教育学校） 工藤洋路（玉川大学） 岩瀬俊介

(千代田区立九段中等教育学校) 清水公男 (文京学院大学) 鈴木千貴 (横浜市立東高等学校) 中村隆 (城北埼玉中学・高等学校) 牧野彰弘 (世田谷区立緑丘中学校)

リーディング研究部会 (13:30~14:20)

「学習者に『橋渡し推論』を確実に行わせるための『教師発問』に関する読解指導 - 教師発問の具体的な作成方法、作成手順、作成上の留意点」

本研究大会では、第2言語読解研究及び第2言語習得研究の成果を援用し、教師と生徒の「言語相互作用」に焦点をあてた「授業談話分析研究」を踏まえ、学習者に「橋渡し推論」を効果的且つ適切に行わせることを目的とする「教師発問」の具体的な作成方法、作成手順、作成上の留意点に関する試案を提案し、問題点及び改善点に関して参加者の方々と協議する。
発表者: 寺内正典 (法政大学)、酒井藤恵 (東京家政大学)、豊原いずみ (桐蔭学園中等教育学校)、本間匡倫、渡邊聡大 (以上、海城中学高等学校)

ライティング研究部会 (14:30~15:20)

「第2弾~思考力を促進しながら行うライティング活動」

書く活動では、学習者は思考力を促進することで、より良い英文を産出できることが期待できる。本研究発表では、実際に学習者が体験した活動とその中で書いた作文例をもとにして、思考力を促進させるための教師の橋渡しや足場掛けの具体的手法を紹介し、その意義を論じる。

発表者: 工藤洋路 (玉川大学) 長沼君主 (東海大学) 加藤洋昭 (青山学院大学大学院博士後期課程) 木幡隆宏 (秋田大学) 齊藤澄江 (埼玉県立伊奈学園総合高等学校) 松岡まどか (横浜雙葉中学高等学校) 和田朋子 (工学院大学)

音声指導研究部会 (14:30~15:20)

「音読学研究と実践の結実」

2007年度以来音声指導研究部会で取り組んできた、豊かな音声表現とその指導のための研究分野「音読学」。10年目を迎える今年、音読学研究の道筋を振り返り、形となって結実した様々な教材や表記方式などについてレビューする。研究部員が番組講師をつとめ、音読学の知見をふんだんに盛り込んで作っているNHKラジオ「基礎英語1」の音声表現指導のねらいなど、具体的な成果も紹介予定。毎年恒例の実演を交え、フロアの方々と共に作る研究発表にしたい。

発表者: 田中敦英 (桐朋中学校・高等学校) 島岡丘 (筑波大学シニア・プロフェッサー) 小林順子 (足立区立第六中学校) 松津英恵 (東京学芸大学附属竹早中学校)

◆ビデオによる公開授業 (一般会場 15:35~17:10 学生会場 15:35~17:20)

「生徒が気づき、学び合う授業を目指して」

授業者: 高瀬ひとみ (千代田区立九段中等教育学校)

【一般会場】**解説者:** 三浦幸子 (都留文科大学) **司会進行:** 溪内 明 (文京区立第八中学校)

【学生会場】**解説者:** 工藤洋路 (玉川大学) **司会進行:** 田島久士 (大田区立糀谷中学校)

少人数授業の、20人一クラス、中学2年生の授業です。新しい単元(Unit)のPart 1です。新しい文構造のhave to / don't have toを口頭で導入した後に、教科書の本文を扱います。新しい文構造を導入するときは、生徒が理解しやすい状況や場面を設定するように常に心がけています。また、生徒の気づき、生徒同士の学びがあるような授業が展開できるように心がけています。

8. **昼食**：当日は休日につき学生食堂は利用できません。お手数ですが昼食は各自でご用意
くださいますようお願いいたします。

9. **協賛企業**

株式会社アルク 株式会社いいずな書店 株式会社エデュケーショナルネットワーク
開隆堂出版株式会社 学校図書株式会社 教育開発出版株式会社 教育出版株式会社
株式会社桐原書店 Cambridge University Press 株式会社三省堂
株式会社新興出版社啓林館 ジャパンライム株式会社 株式会社大修館書店
東京書籍株式会社 株式会社ネリーズ ベネッセ教育総合研究所 光村図書出版株式会社

10. **懇親会**：情報交換や親睦の場として懇親会を企画しています。会費は 4,000 円の予定です。
会員でない方もご自由に参加いただけます。参加希望の方は、当日受付でお申し
込み下さい。

11. **問い合わせ先**：E-mail: elec_taikai2016@elecfriends.com